

【月刊HMレポート：Vol. 224】 2020年5月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



世界規模の経済危機の中で見据えるべき

本来の意味での事業延命と反転飛躍の方向性

◇◆◇ 事業目標を定めた“計画”が持つパワーとは？ ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- 【1】60年前の政治家の演説が今のビジネスに甦る 1頁
- 【2】トップダウンではないパワーが企業を救う場合 2頁
- 【3】危機に直面した時に役立つ“実践的”な計画力 3頁
- 【4】実践的な事業計画が持つ“3つの要素”とは？ 4頁
- 【5】社内の隠れた“逸材”を発見して大事にする！ 5頁

大きな経営危機を前にした時、当面の資金を調達できても、長期的な事業再生に繋がらない場合があります。公的助成金等の活用は非常に重要ですが、肝心なのは、それを“どう活用するか”なのかも知れません。

特に昨今のように、社会全体が大きな危機に呑み込まれるような状況下では、危機後の事業継続やV字回復には、独特の発想や検討が必要になるとも言えそうなのです。そんな中で、ある経営者の“提言”を見つけました。参考になるかどうかを含め、ご検討賜りたいと思います。



SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- SPC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。